

令和7年度 大阪市立美術館ほか2館で使用する都市ガス調達 327,510 m<sup>3</sup>  
仕様書

1 対象施設

施設	住所
大阪市立美術館	大阪市天王寺区茶臼山町 1-82
大阪市立自然史博物館	大阪市東住吉区长居公園 1-23
大阪市立東洋陶磁美術館	大阪市北区中之島 1-1-26

2 ガスの概要

施設	種類	供給熱量	供給圧力	系統数
大阪市立美術館	都市ガス 13A	45 MJ/N m <sup>3</sup>	低圧	2系統 空調2系統
大阪市立自然史博物館	都市ガス 13A	45 MJ/N m <sup>3</sup>	低圧	4系統 空調2系統、一般2系統
大阪市立東洋陶磁美術館	都市ガス 13A	45 MJ/N m <sup>3</sup>	低圧	2系統 空調1系統、一般1系統

3 ガスの使用条件

(1) 大阪市立美術館

	空調系統1	空調系統2
予定契約最大使用量(m <sup>3</sup> N/h)	120	120
予定契約年間使用量(m <sup>3</sup> )	104,183	109,965
予定契約月別使用量(m <sup>3</sup> )	別紙1参照	別紙1参照
予定契約年間引取量(m <sup>3</sup> )	72,928	76,976
予定最大需要期使用量(m <sup>3</sup> )	27,338	28,854
メーター号数(号)	120	120

(2) 大阪市立自然史博物館

	空調系統1	空調系統2	一般系統1	一般系統2
予定契約最大使用量(m <sup>3</sup> N/h)	100	100	100	100
予定契約年間使用量(m <sup>3</sup> )	50,461	54,361	8	413
予定契約月別使用量(m <sup>3</sup> )	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照
予定契約年間引取量(m <sup>3</sup> )	35,323	38,053	6	289
予定最大需要期使用量(m <sup>3</sup> )	18,032	19,178	0	285
メーター号数(号)	100	100	100	100

(3) 大阪市立東洋陶磁美術館

	空調系統	一般系統
予定契約最大使用量(m <sup>3</sup> N/h)	30	2
予定契約年間使用量(m <sup>3</sup> )	8,087	32
予定契約月別使用量(m <sup>3</sup> )	別紙3参照	別紙3参照
予定契約年間引取量(m <sup>3</sup> )	5,661	22
予定最大需要期使用量(m <sup>3</sup> )	7,582	16
メーター号数(号)	30	2.5

・ 予定契約最大使用量

契約最大使用量とは契約で定める1年間を通じて1時間当たりの最大使用量をいう。

・ 予定契約年間使用量

契約年間使用量とは、契約で定める1年間の契約月別使用量の合計量をいう。

使用量は、あくまで積算いただくための実績に基づいた予測データであり、大阪市立美術館ほか2館における都市ガスの使用量を保証するものではない。

・ 予定契約年間引取量

契約年間引取量とは、契約で定める1年間の引取らなければならない使用量をいう。

・ 予定最大需要期使用量

契約最大需要期使用量とは、本契約期間の12月から翌3月まで(4か月間)における合計ガス使用量をいう。

4 供給期間

令和7年4月定例検針日の翌日から令和8年4月定例検針日まで

5 ガス料金の算定基準

- (1) 入札時原料費料金単価の算定にあたっては、令和5年8月から令和6年7月の財務省貿易統計の平均値を基準とし、毎月のガス料金の算出の際に、下記6の原料費調整を行う事業者にあつては、当該入札時原料費単価は、入札時点における原料費調整を行った価格とする。
- (2) 託送供給料金単価は、大阪ガスネットワーク株式会社(以下「一般ガス導管事業者」という。)の令和6年10月1日時点の小売託送供給約款における託送供給料金を適用する。なお、一般ガス導管事業者において、小売託送供給約款が改定され、託送供給料金単価が変更になった場合は、改定後の一般ガス導管事業者の小売託送供給約款に定める託送供給料金単価によるものとする。

6 ガス料金原料費調整

- (1) 受注者は、毎月のガス料金を算定するにあたり、入札時の原料費に変動が生じた場合は、供給条件(契約書第1条の2に規定する供給条件をいう。以下同じ。)に定めるところ

ろにより、原料費料金単価の調整を行い、ガス料金を算定することができる。

- (2) (1) の原料費料金単価の調整は、2 か月ごとに行うものとする。
- (3) 原料費料金単価の調整を行う場合、受注者は、ガス料金の請求時に原料費料金単価算出の根拠資料を提出するものとする。
- (4) 受注者が、原料費調整を行うにあたって、(1) ～ (3) の規定によりがたい場合、発注者と受注者は、別途協議のうえ、取扱いを決定する。

## 7 契約最大需要期使用量の超過

本契約期間のうち、12 月から翌 3 月まで（4 か月間）における実績使用量が契約最大需要期使用量の 105 パーセントを超過した場合、受注者は発注者に対し、供給条件により算定した精算額を請求することができる。

## 8 ガス料金の算定

ガス料金は、1 か月（本契約書の第 10 条で定める期間）の使用量により算定する。なお、入札時の契約年間使用量は予定使用量であるため、契約期間中における毎月のガス使用量に応じて計算する。

## 9 ガスの安定供給

受注者は、大阪市立美術館ほか 2 館におけるガスの安定供給を図らねばならない。ただし、以下の場合、ガスの供給を中止し、又はガスの使用を制限、若しくは中止の申出ができる。

- (1) ガスの需要上、やむを得ない場合
- (2) 一般ガス導管事業者及び受注者のガス供給設備に故障が生じ、又は生じるおそれがある場合
- (3) 一般ガス導管事業者及び受注者のガス供給設備の修繕、変更その他の工事上、やむを得ない場合
- (4) 天災地変等の場合
- (5) その他保安上、必要がある場合

## 10 ガス使用量の測定方法

- (1) 一般ガス導管事業者が設置した取引用ガスメータにより毎月検針を行うものとする。
- (2) 検針場所は、別図 1 から 3 を参照。
- (3) 月ごとの使用期間は、本契約書の第 10 条で定める期間とする。

## 11 保安業務要件

- (1) 受注者は、内管（ガス工事）に関する連絡先、ガス消費機器に関する連絡先を各々設定し、発注者へ伝達し緊急時連絡するよう依頼すること。
- (2) 受注者は、ガス消費機器について、ガス事業法（昭和 29 年法律第 51 号）、政省令に定める保安業務のほか、以下の保安業務を実施すること。

- ア 小型湯沸器（不完全燃焼防止装置あり、なしを問わない）及びCF式・FE式湯沸器のCO測定、機器の誤接続有無の確認、機器のガス種適合調査、ガス消費機器の漏えい検査、各保安業務をガス開栓以後4年に1回以上の頻度で行われるよう実施すること。
- イ ガス供給期間開始前に機器の型式調査を行い、登録しておくこと。

## 12 緊急時の対応

- (1) 受注者は、緊急対応が発生した際は、臨時供給体制の確保等、一般ガス導管事業者に積極的に協力し、速やかかつ適切に対応すること。
- (2) 受注者は、災害時の臨時供給における設備を保有し、体制を整えていること。

## 13 その他

- (1) 入札書に記載する金額（入札金額）には、この契約におけるガスの供給に必要な費用を全て含めるとともに、当該金額の算定根拠となった単価を記載すること。なお、契約締結時（契約書作成時）には、当該入札書に記載した単価を契約書別紙1「ガス料金内訳書」に記載すること。
- (2) 応札に当たっては本仕様書を十分検討し、疑義ある場合は質問期間内に指定の方法によりよく質し、その内容を熟知の上応札するものとする。質問受付期間経過後の疑義については受付しない。契約締結後における仕様書の疑義は、本法人の解釈によるものとする。

## 14 担当

〒540-0008 大阪府中央区大手前 3-1-43 ホテルプリムローズ大阪 3階  
地方独立行政法人 大阪市博物館機構  
事務局（施設管理課）  
TEL：06-6940-4301

## ガス使用量

施設名：大阪市立美術館

使用月	①空調系統1 (m <sup>3</sup> )	②空調系統2 (m <sup>3</sup> )	合計 (m <sup>3</sup> )
4月	5,126	5,410	10,536
5月	8,543	9,017	17,560
6月	8,543	9,017	17,560
7月	14,502	15,308	29,810
8月	14,502	15,308	29,810
9月	11,960	12,624	24,584
10月	8,543	9,017	17,560
11月	5,126	5,410	10,536
12月	5,126	5,410	10,536
1月	5,126	5,410	10,536
2月	8,543	9,017	17,560
3月	8,543	9,017	17,560
合計	104,183	109,965	214,148

## ガス使用量

施設名：大阪市立自然史博物館

使用月	①空調系統1 (m <sup>3</sup> )	②空調系統2 (m <sup>3</sup> )	③一般系統1 (m <sup>3</sup> )	④一般系統2 (m <sup>3</sup> )	合計 (m <sup>3</sup> )
4月	2,020	2,123	0	59	4,202
5月	601	726	8	15	1,350
6月	1,683	1,654	0	6	3,343
7月	4,072	4,030	0	4	8,106
8月	8,681	9,006	0	3	17,690
9月	7,805	8,280	0	6	16,091
10月	3,956	4,522	0	5	8,483
11月	3,611	4,842	0	30	8,483
12月	4,443	5,167	0	7	9,617
1月	4,655	4,875	0	87	9,617
2月	4,739	4,777	0	101	9,617
3月	4,195	4,359	0	90	8,644
合計	50,461	54,361	8	413	105,243

## ガス使用量

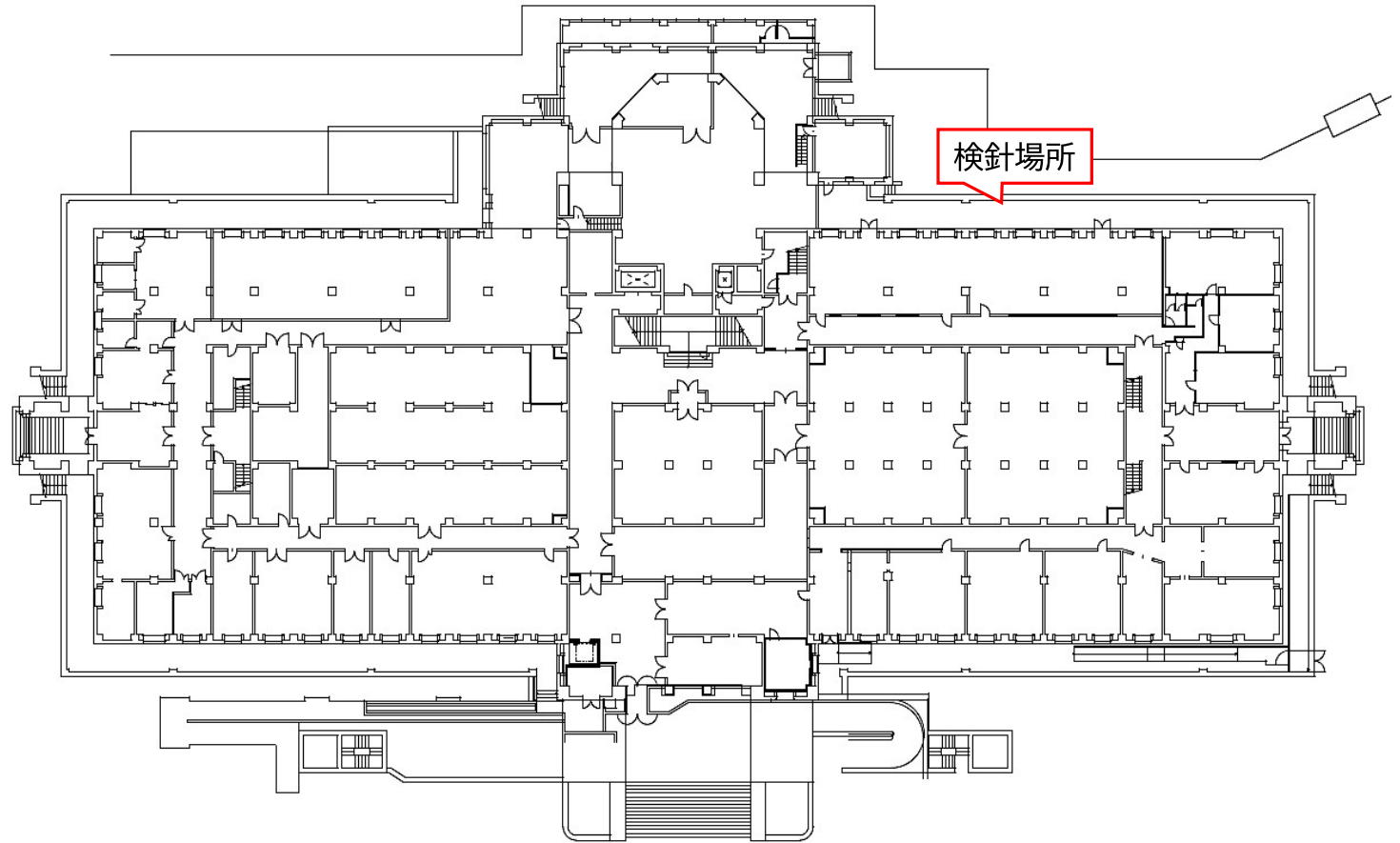
施設名：大阪市立東洋陶磁美術館

使用月	①空調系統 (m <sup>3</sup> )	②一般系統 (m <sup>3</sup> )	合計 (m <sup>3</sup> )
4月	300	2	302
5月	0	2	2
6月	0	1	1
7月	0	1	1
8月	0	2	2
9月	0	3	3
10月	0	2	2
11月	205	3	208
12月	2,168	4	2,172
1月	2,079	5	2,084
2月	1,858	4	1,862
3月	1,477	3	1,480
合計	8,087	32	8,119

大阪市立自然史博物館  
検針場所 1階ドライエリア



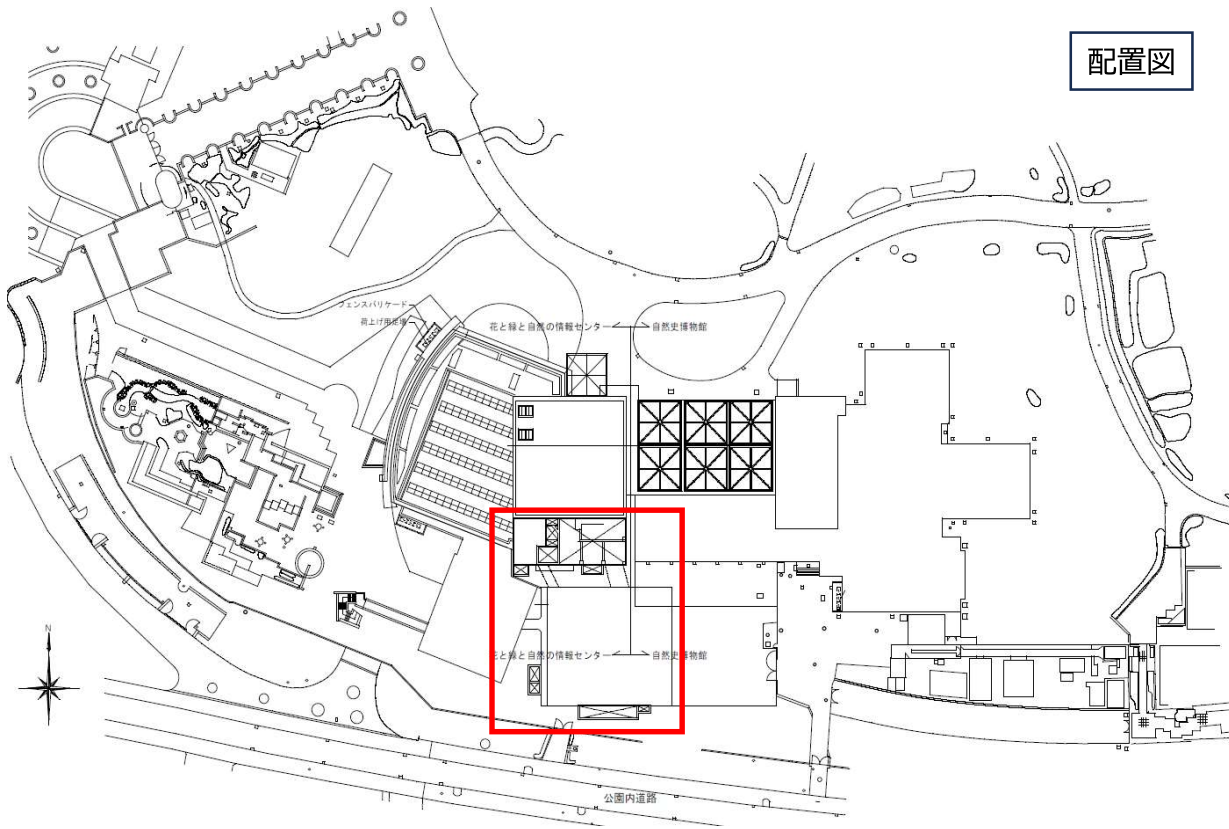
付近見取図





大阪市立自然史博物館  
検針場所 地下1階熱源機械室

配置図



大阪市立東洋陶磁美術館  
検針場所 1階 D階段下倉庫

